

謹 啓

毎日のようにくるくる変わる天気、落ち着かない日々を過ごしておりますが、皆様はいかがお過ごしでしょうか。ご健勝のことと拝察します。

さて、このたびの『瑞宝小綬章』受章に際しましては、ご丁寧なるご祝辞や、結構なお祝いの品々を賜り、誠にありがとうございます。心よりお礼申し上げます。

ところで、この栄誉は、今まで懸命に、子供たちの成長、そして社会への貢献を念頭に、九里学園の教育活動を進め支えてくれた歴代の教職員たちや、彼らの教えをしつかりと受け止めて成長してくれた歴代の生徒たち、またそれを支えてくださった関係の皆様、の応援があつてのことと受け止めております。その意味で私個人に与えられたものではなく、『学校としての受章』と思っています。これから学園全体でこの栄誉を心に受け止め、もっと良い教育をする学校にするため、全員で励むつもりです。

最近の世界の諸情勢を見ると、これから生きる若者たちにとって、とても不安な状態にあります。みんなが平和で安全な生活をこれからもずっと続けて行くことができるように、私を含めた教育人はもとより、大人たちは社会を良くするため、懸命に努めなければなりません。もし私たち九里学園がその努力を怠っているようなことがありましたら、どうぞ厳しく叱咤してください。また頑張りには激励をお願いしたいと思っております。

まずは書中をもってお礼申し上げます。

敬 具

令和七年六月

学校法人九里学園理事長

九里廣志

追記

現在私は、「山形県内に『平和祈念館』（仮称）を作りたい」と思い、活動を始めました。前記のごとく、今の世界は、そして日本を取り巻く環境も、世界中が求めている『持続可能な世界』とは言えなくなっています。

戦後八十年を迎えた今、再び後世に不幸な時代を作らないためにも、不幸だった時代の歴史をしつかり見つめるための、子供たちが「平和について学ぶための施設」を必要としていると思っています。残念ながら山形県にはそのような施設がほとんど無いのです。具体化までには様々な難関があると思いますが頑張るつもりです。応援よろしく願います。